



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 パンチ工業株式会社

コード番号 6165 URL <http://www.punch.co.jp/companyinfo/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武田 雅亮

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務本部長 (氏名) 村田 隆夫

TEL 03-5460-8237

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	16,350	20.4	950	126.7	851	158.2	644	285.6
26年3月期第2四半期	13,575	10.7	419	25.7	329	△13.4	167	△30.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 222百万円 (△75.8%) 26年3月期第2四半期 916百万円 (182.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	71.87	—
26年3月期第2四半期	23.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	24,883		9,545			38.3
26年3月期	24,471		9,362			38.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 9,539百万円 26年3月期 9,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	7.50	—	12.50	20.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 5円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,819	11.5	1,619	39.4	1,439	37.4	1,039	44.2	115.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料 P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	8,961,200 株	26年3月期	8,961,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	— 株	26年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	8,961,200 株	26年3月期2Q	7,150,000 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は平成26年11月14日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については開催後速やかに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では回復基調が持続、欧州は足踏み状態、中国は7%前後の安定成長と、総じて、ややペースダウンしているものの緩やかな成長が続いております。また、国内においては個人消費が低調ながら、輸出の増加や設備投資の拡大もあり、緩やかな回復基調となりました。

このような環境の中で当社グループは、グローバル化及び新市場・新分野への展開を積極的に進めるとともに、持続的な原価低減を推進することで、業績の確保に努めてまいりました。

国内では円安の定着や設備投資の拡大もあり、幅広い業種で前年同期を上回る売上となりました。中国でも自動車、電子部品・半導体が堅調で、前年同期を上回る売上を確保することができました。また、2013年8月に完全子会社化したPUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシアパンチ)及び同社の子会社の実績が加味され、東南アジア及び欧州への売上も拡大しました。

この結果、国内売上高は7,516百万円、海外売上高は8,834百万円となり、連結売上高16,350百万円(前年同期比20.4%増)となりました。

利益面につきましては、仕入れコストの低減及び工場の稼働アップによる原価率の低減に加えて、単体収益体質改革活動の成果もあり、営業利益は950百万円(前年同期比126.7%増)、経常利益は851百万円(前年同期比158.2%増)、四半期純利益は644百万円(前年同期比285.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は24,883百万円となり、前連結会計年度末(2014年3月末)と比較し412百万円の増加となりました。これは、主として現金及び預金の増加によるものであります。

総負債は15,338百万円となり、前連結会計年度末(2014年3月末)と比較し229百万円の増加となりました。これは、主として支払債務の増加によるものであります。

純資産は9,545百万円となり、前連結会計年度末(2014年3月末)と比較し182百万円の増加となりました。これは、主として四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは1,294百万円の収入(前年同期は557百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益854百万円、減価償却費618百万円、仕入債務の増加405百万円等による収入が、売上債権の増加453百万円、たな卸資産の増加107百万円、法人税等の支払額172百万円等の支出を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは481百万円の支出(前年同期は1,221百万円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得301百万円、短期貸付金の増加166百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは364百万円の支出(前年同期は231百万円の収入)となりました。これは、短期借入金の減少497百万円、長期借入金の返済610百万円、配当金の支払額112百万円等による支出が長期借入れによる収入900百万円を上回ったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は1,886百万円となり、前連結会計年度末に比べ379百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上は計画を若干下回ったものの、利益面においては計画を上回ることができました。第3四半期以降も、不透明な経営環境の中、引き続き業績の確保に努めてまいりますが、一方で重点経営課題であります高収益事業モデルへの転換を加速するための投資も実施いたしたく、2014年8月8日に修正公表いたしました通期の業績予想を据え置くことといたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が112,203千円減少し、利益剰余金が72,517千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,527,915	1,890,077
受取手形及び売掛金	9,433,182	9,384,926
商品及び製品	1,820,365	1,766,069
仕掛品	395,010	435,544
原材料及び貯蔵品	1,125,738	1,115,453
その他	481,207	937,730
貸倒引当金	△115,410	△81,631
流動資産合計	14,668,009	15,448,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,933,709	4,890,139
減価償却累計額	△2,838,605	△2,873,722
建物及び構築物(純額)	2,095,104	2,016,416
機械装置及び運搬具	11,695,351	11,610,625
減価償却累計額	△7,765,290	△7,844,220
機械装置及び運搬具(純額)	3,930,061	3,766,404
工具、器具及び備品	1,695,291	1,759,738
減価償却累計額	△1,397,443	△1,415,948
工具、器具及び備品(純額)	297,847	343,790
土地	831,658	830,857
リース資産	529,315	520,609
減価償却累計額	△104,877	△122,825
リース資産(純額)	424,437	397,784
建設仮勘定	32,877	68,695
有形固定資産合計	7,611,987	7,423,948
無形固定資産		
のれん	913,697	853,439
その他	885,791	849,249
無形固定資産合計	1,799,489	1,702,688
投資その他の資産		
その他	487,134	442,570
貸倒引当金	△95,205	△133,597
投資その他の資産合計	391,928	308,972
固定資産合計	9,803,405	9,435,610
資産合計	24,471,415	24,883,779

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,426,324	3,811,893
短期借入金	4,331,120	4,035,642
1年内返済予定の長期借入金	972,392	910,721
未払法人税等	145,061	155,823
賞与引当金	359,822	599,461
土壤汚染対策費用引当金	260,065	295,065
その他	1,877,570	1,667,382
流動負債合計	11,372,356	11,475,990
固定負債		
長期借入金	2,440,447	2,789,071
退職給付に係る負債	737,638	573,487
その他	558,019	499,622
固定負債合計	3,736,106	3,862,181
負債合計	15,108,462	15,338,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571,540	1,571,540
資本剰余金	1,300,540	1,300,540
利益剰余金	5,096,204	5,700,723
株主資本合計	7,968,285	8,572,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,362	1,504
為替換算調整勘定	1,432,007	976,235
退職給付に係る調整累計額	△47,720	△11,285
その他の包括利益累計額合計	1,385,649	966,454
少数株主持分	9,017	6,347
純資産合計	9,362,952	9,545,607
負債純資産合計	24,471,415	24,883,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
売上高	13,575,144	16,350,777
売上原価	10,125,360	11,786,418
売上総利益	3,449,784	4,564,358
販売費及び一般管理費	3,030,636	3,613,970
営業利益	419,147	950,388
営業外収益		
受取利息	9,357	5,755
作業くず売却益	10,434	15,770
その他	16,924	17,615
営業外収益合計	36,715	39,140
営業外費用		
支払利息	62,443	58,612
土壌汚染対策費用引当金繰入額	30,000	35,000
その他	33,543	44,263
営業外費用合計	125,986	137,876
経常利益	329,876	851,652
特別利益		
固定資産売却益	672	4,655
特別利益合計	672	4,655
特別損失		
固定資産除売却損	4,408	1,583
段階取得に係る差損	38,026	—
特別損失合計	42,434	1,583
税金等調整前四半期純利益	288,114	854,724
法人税、住民税及び事業税	129,021	200,788
法人税等調整額	△7,922	12,537
法人税等合計	121,098	213,326
少数株主損益調整前四半期純利益	167,015	641,398
少数株主損失(△)	—	△2,619
四半期純利益	167,015	644,017

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	167,015	641,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,968	142
為替換算調整勘定	769,874	△455,822
退職給付に係る調整額	—	36,434
その他の包括利益合計	749,905	△419,245
四半期包括利益	916,921	222,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	916,921	224,822
少数株主に係る四半期包括利益	—	△2,669

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	288,114	854,724
減価償却費	524,399	618,430
のれん償却額	—	47,248
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,244	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	4,379
賞与引当金の増減額(△は減少)	120,920	243,923
貸倒引当金の増減額(△は減少)	62,376	12,747
土壌汚染対策費用引当金の増減額(△は減少)	5,000	35,000
受取利息及び受取配当金	△9,691	△6,099
支払利息	62,443	58,612
為替差損益(△は益)	△95,637	41,742
固定資産除売却損益(△は益)	3,735	△3,071
段階取得に係る差損益(△は益)	38,026	—
売上債権の増減額(△は増加)	△109,849	△453,560
たな卸資産の増減額(△は増加)	△114,484	△107,960
仕入債務の増減額(△は減少)	△50,341	405,601
その他	39,896	△240,730
小計	767,152	1,510,987
利息及び配当金の受取額	17,262	6,082
利息の支払額	△68,064	△49,640
法人税等の支払額	△158,996	△172,869
営業活動によるキャッシュ・フロー	557,354	1,294,560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	16,920
有形固定資産の取得による支出	△171,016	△301,083
有形固定資産の売却による収入	177,751	7,232
無形固定資産の取得による支出	△61,566	△47,093
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△137,700	△166,700
長期貸付金の回収による収入	171,595	44,302
長期貸付けによる支出	△46,654	△41,950
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による支出	△1,155,268	—
その他	1,277	6,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,221,581	△481,622
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△401,179	△497,338
長期借入れによる収入	1,500,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△713,774	△610,596
配当金の支払額	△143,000	△112,015
その他	△11,000	△44,671
財務活動によるキャッシュ・フロー	231,046	△364,621
現金及び現金同等物に係る換算差額	131,918	△68,880
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△301,262	379,436
現金及び現金同等物の期首残高	1,741,146	1,506,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,439,883	1,886,377

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、金型用部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。